

「どろんこのうた」野村学園

西予市

西予市野村町にある野村学園は昭和41(1966)年4月に開園された。現在障害児入所施設、障害者支援施設として知的障害のある人たちが心安らぐ家庭的で楽しい寮生活がおくれることに配慮し、能力に応じた生活支援、作業支援、機能訓練等を行い、社会生活に必要な能力を身に付け、自己実現の喜びを知り、社会参加のできる人間育成を行っている。

野村学園の詩教育は昭和45(1970)年頃から始まる。ある園児が散歩の時や粘土遊びの最中につぶやいた無心の言葉が、素晴らしい口述詩になっていることに気付いたのがきっかけである。その後針金で粘土板に詩を書き自由に絵を描くようになった。粘土を使った、読字力、写字力などの練習が、作文力、詩作力を開発することにつながり、多くの子どもが詩を創作するようになる。「どろんこのうた教育」の始まりである。やがて、版画板に彫刻刀で絵や詩を彫りはじめ、昭和52(1977)年初めて画用紙で手刷りによる版画詩カレンダーが作られ、以後毎年版画詩カレンダーを制作するようになった。

日常生活の中にあるあたりまえのことに感動し、表現された数々の詩は、多くの人々に感動を与えている。

障害のある人々の人権・人格が軽視されている社会的現実がある中で、詩作を通して、こうした人々の素晴らしさが認められるということは、家族を含め障害のある人々に自信と勇気を与えている。

詩教育が始まった当初から現在も指導に携わっている仲野猛氏は、「彼らが表現する生きた言葉である詩は、彼らのもつ豊かな感性の証である」と語る。

彼らが飾らない言葉で人間そのものをうたった多くの詩は、私たちに生きることの原点を教えてくれている。



版画制作風景



野村学園内にある「どろんこのうた館」

〔参考資料〕

愛媛県人権教育協議会 「えひめ人権・同和教育No.102」

仲野 猛 『どろんこのうた』『どろんこのうた交流記』